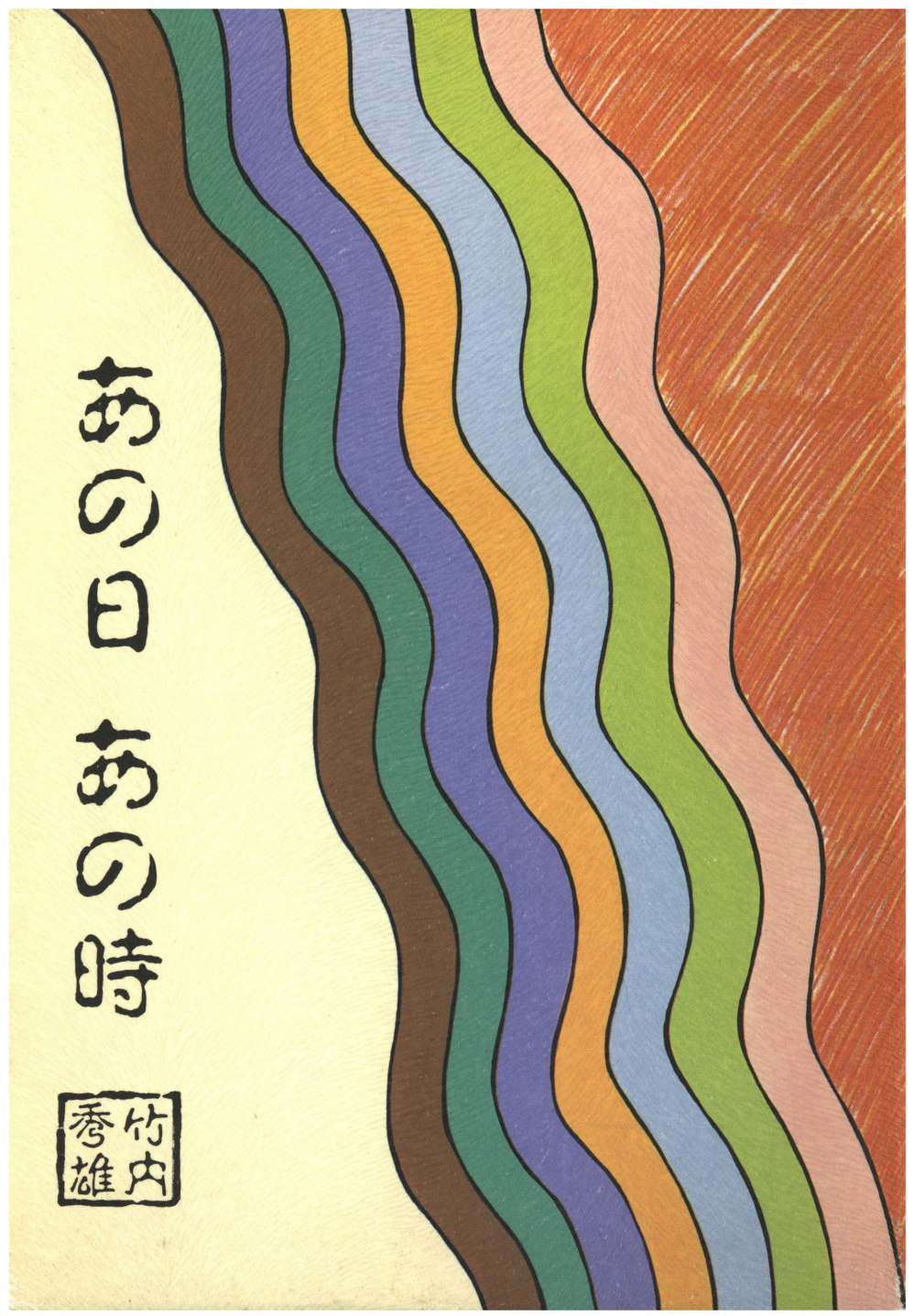


あの日あの時



あ
の
日
あ
の
時

竹
内
秀
雄

あの日 あの時



昭和48年 8月16日 ルーブルにて



昭和59年 8 月29日 煙洲会の皆さんと日野墓地にて



昭和57年12月22日 第 471 回煙洲会にて卓話する筆者

まえがき

「寄席の息子と英文学」に続いて、「煙洲先生と横浜」を上梓した自分は、第三弾として「あの日あの時」を放ちますが、世人はこれを空砲と笑い、闇に鉄砲と嘲けるかも知れない。でも、寄席の息子として生れた自分が両親の慈愛のもとに育まれ、恩師の方々から御指導を賜り、また、交友諸氏の御激励により今日あるを得ました。自分は何たる果報者でしょう!!

昨年米寿を迎えました私は、その越し方を顧みて、もう一度あの日あの時を迎えてみたいと思いました。感傷的とお笑い下さい。センチメンタル

尤も老生の頭腦のコンピュータも近頃は怪しくなっていますので記憶がしどろもどろですから何卒御判読下さい。

とまれ、この短い人生において「名教自然」の片鱗に触れることの出来ました幸運を私は有難く思っております。

目次

あの日あの時

(一) 私の出生とザキの界限	1
(二) 横浜駅（現桜木町）と港方面	14
(三) 小、中学から大学へ	23
(四) 芸能吹き寄せと父のプロフィール	31
(五) お祭騒ぎと戦争への道	52
(六) ハマの名士	57
(七) 野球漫談とハマの文士	65
(八) 戦争と平和	86
卓話	
ハマのベースボール	104

海外旅行の今昔

(一)	アメリカ遊学	129
(二)	イギリス遊学	155
(三)	仏・伊への旅	168
(四)	帰国	182
(五)	欧州三人旅(その一)	188
(六)	同(その二)	213
(七)	同(その三)	229